



定例会の議案審議、一般質問などの詳細は、上記のQRコードから映像でご覧いただけます。

8月号

# ふじいでら 市議会だより

編集・発行／藤井寺市議会  
☎939・1208

## 令和3年第1回臨時会のあらまし

令和3年第1回臨時会は5月19日に開催され、議会構成の改選を始め(6月号掲載)、条例の一部改正、報告案件、人事案件など市長提出議案について、本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決しました。

### 人事案件について

◆藤井寺市監査委員の選任につき同意を求めることについて  
畑 謙太郎

## 令和3年第2回定例会のあらまし

令和3年第2回定例会は6月10日から30日までの21日間の会期で開催され、令和3年度補正予算、条例の一部改正、報告案件、人事案件などについて、委員会・本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決しました。

### 人事案件について

◆藤井寺市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

國下 尊央  
瀬川 覚

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

服部 仁美さん  
大崎 信久さん

# 一般質問



政新クラブ  
代表質問  
麻野 真吾

## 1 定員適正化計画について

### (1) 定員適正化計画について

**質問** 総人件費の抑制を避けて通れないと認識されている中で、他の事業の財源を捻出するため、令和4年度から定員適正化に取り組むことについて、市長のお考えをお聞かせください。  
**答弁** 持続可能で自治体間競争で生き残っていくためには、職員の適正化に取り組まなければならないとの認識から定員適正化計画を策定しました。人数は当面同数とし、令和6年度から削減することとしています。

### (2) 会計年度任用職員について

**質問** 会計年度任用職員を令和3年4月1日現在で498人雇用しており、歳出予算額は約11億円ありますが、会計年度任用職員を含めた定員適正化を図るといふ理解でよろしいですか。  
**答弁** 会計年度任用職員を含めた職員数の適正化に取り組んでまいりたいと考えています。

### (3) 少数精鋭の体制構築について

**質問** 10年で21人削減の目標設定が甘いと思いますが、市長の

お考えをお聞かせください。

**答弁** 担当課と協議を行い、類似団体と比較で職員数が多く、職員数の抑制に取り組む必要があるとの考えから、適正化を進めることとしました。毎年度の検証と計画内容の見直しにも取り組みながら達成を目指します。  
**要望** 新規事業を実施したいと思っても、財源の壁に跳ね返されてしまいます。状況改善には、職員個人の人件費抑制ではなく、少数精鋭の体制構築による抑制にほかなりません。批判を恐れず進めていただきたい。

## 2 職員研修について

### (1) 職員の財政状況の認識について

**質問** 財政状況について職員の理解度を高めるための研修実施状況についてお聞かせください。  
**答弁** 新規採用職員研修、各課長等への行財政改革推進員研修を開催しています。また、職員向けの研修資料を作成し、啓発活動に取り組んでいます。

### (2) 少数精鋭の体制構築のための職員研修について

**質問** 研修後の効果検証について、数値化の必要性についてお聞かせください。  
**答弁** 研修の効果をも体的に測定するには困難な面もあるた

め、新たなアンケート調査により、効果検証の仕組みづくりにつなげてまいりたいと考えています。

**要望** 学ぶべき組織には必ず組織を牽引する人材がいます。そのような組織に一日も早く近づきよう要望します。

## 3 新型コロナウイルス対策について

### (1) 市民病院について

**質問** 新型コロナウイルス患者の病床確保及び受け入れ状況についてお聞かせください。  
**答弁** 病床数は非公表となっておりますが、大阪府からの増床要請により、5月から体制を見直しています。

### (2) バックベッドの確保について

**質問** 市民病院をバックベッドとして、回復に向かう患者さんを受け入れる役割を果たすことについてお聞かせください。  
**答弁** 施設基準の届出を行っていないので、受け入れることは

できないですが、入院患者が転院できない場合に、院内感染を防ぐよう動線を分けて、一般病室に転室する対応を行います。

**要望** 可能な限り国や大阪府からの要請に応えていただきたいと思えます。国や府からの財政措置を受けることで何とか市民病院の経営が成り立つ状況であると思えますので、あり方、課題の解決ということを早急に進めていただきたいと思えます。

### (3) ワクチン接種について

**質問** ワクチン接種の実施状況と見通しをお聞かせください。  
**答弁** 6月14日現在で高齢者のうち1回目は46・6%、2回目は11・8%が接種済みです。7月中には希望する高齢者への接種が完了する予定です。

### (4) コロナ禍での学力格差解消

**質問** 64歳以下の方への速やかな接種に向けた取り組みについてお聞かせください。  
**答弁** 一定年齢ごとに分散して接種券を送付して、順次案内することとしています。早ければ7月中旬から接種が可能になると想定しています。  
**要望** 速やかな接種に向けた取り組みを実施していただくとともに、接種年齢が引き下げられつつありますので、早急に接種券送付をお願いします。

## について

**質問** 全校でのICTを活用した放課後学習(ゆめ教室)の実施について教育長のお考えをお聞かせください。  
**答弁** GIGAスクール推進連絡会を開催し、タブレット端末による家庭学習の実施に向けて検討を進めています。

**質問** 市長のお考えをお聞かせください。  
**答弁** 機器の耐用年数は承知しており、早く活用を進めるよう教育委員会に指示しています。

**要望** 機器活用のスピード感に課題があるように思います。習うより慣れよ」と言いますが、時間を無駄にすれば、あつという間に機器が使い物にならなくなります。遅れを取らないよう要望します。



日本共産党  
代表質問  
瀬川 覚

1 新型コロナウイルス感染症対策を拡充し、市民の命と健康、地域経済を守るために

**質問** この間の救急搬送の状況についてお聞かせください。



**答弁** 柏羽藤消防本部から救急隊全隊が出場した状態が令和3年1～2月で34回約12時間、3月は7回約1時間です。令和2年1年間の搬送件数に近い患者が第4波で搬送されています。

**質問** ワクチンによる集団免疫は秋口までかかることを考えれば、第5波を起させないために、大規模なPCR検査によって「コロナを封じ込める」戦略が必要ですか。いかがですか。

**答弁** 市としては一定、社会的検査の重要性は認識しており、教育施設まで対象を拡大することも有効な手段の一つではないかと考えております。府へは今後、働きかけてまいります。

**要望** 不十分です。消防関係、医療関係、介護・福祉施設従事者・利用者、学校・放課後児童会・保育施設など、基幹的部門や、ケア労働に携わる方々と利用者の方々への定期頻回のPCR検査を実施させてください。

**質問** 大阪府が、令和3年3月、緊急事態宣言解除要請と併せ、重症病床の運用数を223床から156に減らした中、令和3年6月20日時点で2592人の方が亡くなられ、そのうち令和3年3月1日以降発表された方は1400人を超えています。一時、1万8千人を超える

方が病院で治療を受けられない自宅待機者となっています。この教訓を踏まえ、さらなる急性期病床の削減など考えられませんか。いかがお考えですか。

**答弁** 新型コロナウイルスの対応では公立病院の果たす役割が再認識されています。藤井寺市民病院につきましては、地域医療を守るためにも、コロナの教訓を踏まえ、新興感染症への対策や市災害医療センターに位置づけられていることに鑑み、市民ニーズアンケートや周辺医療機関への聞き取り調査などを実施しながら、市民病院改革プランを作成するとともに今後、提供する医療機能や経営形態などあり方を検討するものです。

**質問** 国・府の支援が届かない方々への支援強化を実態に即して行うべきです。聞き取り調査を含め、いかがお考えですか。

**答弁** 府の時短協力金第1期は申請数に対する支給率が89%とお聞きしています。事業者のおかれている現状を注視してまいりたいと考えています。高齢者のお出かけ支援に関連して、将来的な公共交通の検討については福祉的ニーズも考慮にいれて考えます。大学生に対する実態調査は予定しておりません。障害福祉事業者への聞き取り調査

は行ってまいります。

は行ってまいります。

は行ってまいります。

## 2 複合施設化の問題点を質す

**質問** 令和3年度中に事業化を決定する予定とのことですが、広く市民を巻き込んで議論すべきではないですか。

**答弁** 市民アンケート・施設利用者アンケート・市民ワークショップ(平成26・28・29年度)を行い公開しています。令和元年度には施設利用団体に対するアンケート調査を実施して、想定する施設規模をまとめてきました。令和3年度の複合施設整備検討委員会の内容は、経緯・経過や会議資料、委員からの質疑等についてもホームページなどにより公開してまいります。

**要望** 令和元年度の報告書でさえ、まだ見せることのできる段階のものではないとして、議会にも正式に報告がなく、手法についてもリスク含め、明らかにされています。市民目線、開かれた市政というのであれば、市民に広く明らかにして、市民とともに考えるべきです。

**質問** 小・中学校で1学級35人を超えている学年は何学年あり、クラス編成の際に支援学級に通っている児童生徒を含めたダブルカウントを行った場合に1学級の人数はどうなりますか。

**答弁** 令和3年6月1日時点では、小学校で4学年、中学校で5学年です。ダブルカウントした場合は小学校で3学年、中学校で2学年が40人を超えます。

**質問** 40人を超える学級があるという事に対して改善が必要だという認識はありますか。

**答弁** ダブルカウントした状態で標準法に基づいた学級編制を国や府に求めており、改善は必要だと認識しています。

**要望** 国や府の対応を待たず小・中学校で一気に35人学級を実施するよう強く求めます。

**要望** 本市は生活困窮女性へ無料で生理用品を配布し支援につながる取り組みを行っています。子どもたちが気兼ねなく利用できる環境のために、学校のトイレに生理用品を設置してください。

**質問** コロナ禍が長引く中、子どもたちは不安とストレスを抱えています。学校現場の状況をどのように捉えていますか。

**答弁** スクールソーシャルワーカーへの心身の健康・保健に関

する相談件数は令和元年度10件に対して令和2年度は56件になっており、一定のストレスや不安感を持つ児童生徒が増加しているとの認識しています。

**要望** 子どもたちの心身の状況をさらに詳しく把握するためにアンケート調査を実施し、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの増員、養護教諭(保健室の先生)の複数配置を行うってください。



改革ふじいでら  
代表質問  
山本 忠司

1 地域共生社会の実現について  
(1)地域の孤立や孤独解消に向けた取り組みについて

A. 地域で住民が互いに支え合う居場所づくりについて

**質問** ひきこもりがちな高齢の方が、関心や興味を持って参加していただけの居場所づくりが必要と考えるが、本市の見解を



日本共産党  
個人質問  
木下 誇

1 児童生徒の心のケアと学校教育環境の充実を求める



お聞かせください。

**答弁** 地域の方々が、ふれあい  
会食会やいきいきサロンなどを  
開催されていますが、健康増進  
や介護予防などにつながる取り  
組みには、集いの場同様にごき  
る限りの協力をしてまいります。

**質問** 地域共生社会とは、地域  
住民や地域の多様な主体が属性  
の壁を越えた協働を実践し、誰  
もが支え合う地域づくりを目指  
すのですが、本市の地域コミュ  
ニティ全体の未来像を想定した  
取り組みをお聞かせください。

**答弁** 孤立する方を生み出さな  
いようにするには、一つの主体  
だけではなく複数の主体が横断  
的に連携し、地域社会全体の課  
題として取り組んでいきます。

**要望** 本市として、誰もが支え  
合う地域づくり、居場所づくりに  
しっかりと取り組んでいただ  
くことを要望します。

**イ. 災害に備えた高齢者に対す  
る支援体制の整備について**  
**質問** 地域の実情に応じた独自  
のマニュアルや所在企業・法人  
なども協働できる仕組みづく  
りが必要だと思つが、本市の取  
り組みをお聞かせください。

**答弁** 災害時に地域が担う支援  
を必要とする高齢者などの避難  
行動については、地域の特色を  
活かした取り組みが重要であ

り、大阪大学の特任講師にマネ  
ジメントやコーディネートを  
願っています。

**要望** 特任講師に適時に提案な  
どしていただき、地域の実情に  
あった避難行動支援につなげて  
いただくことを要望します。

**(2) 適切な相談対応ができる体  
制づくりについて**

**質問** 令和3年度から市町村に  
おける、包括的な支援体制の構  
築が規定されたが、本市の方向  
性をお聞かせください。

**答弁** 市民の方が抱える8050  
問題やダブルケアなどの複雑化・  
複合化した問題に対応するため、  
関係機関や部署と協議を進め、  
本市にふさわしい相談支援体制  
の構築につなげていきたいと考  
えています。

**要望** 縦割りではなく横断的な  
組織の再編と官民共同体制の構  
築が地域共生社会の実現に不可  
欠ですので、是非とも先進市を  
調査研究していただき温もりの  
ある相談支援体制の充実に努め  
ていただくことを要望します。

**2 都市計画道路八尾富田林線  
について**

**(1) 現在の進捗状況及び今後の  
予定について**

**質問** 八尾富田林線は地域経済  
の活性化につながる重要な道路

であり、藤井寺市の将来に関わ  
る大きな事業です。進捗状況と  
今後の予定をお聞かせください。

**答弁** 令和2年度は八尾富田林  
線と西名阪自動車道の交差部の  
検討や物件調査などが実施され  
ました。今後は、埋蔵文化財調  
査や用地交渉また大阪羽曳野線  
の渋滞対策として右折レーンの  
設置工事に着手する予定です。

**要望** これから大変な調整や交  
渉に入っていきますが、令和8  
年度の整備完了に向け着実に事  
業の推進を図っていただくよう  
要望します。

**(2) 津堂・小山地区まちづくり  
協議会について**

**質問** 地権者の希望される様々  
な土地利用を実現するため、今  
後どのように進めていかれるの  
かお聞かせください。

**答弁** 土地の交換や集約を図る  
ことが必要となるので、協議会  
では土地区画整理事業での事業  
化が検討されています。

**質問** 検討にあたっては、まち  
づくりのノウハウや高い技術力  
を持つ民間事業者の活用も重要  
だと考えるが、連携についてお  
聞かせください。

**答弁** パートナーとなる民間事  
業者の活用も視野に入れて協議  
会運営をサポートしていきます。  
**要望** 今後も津堂・小山地区の

良好なまちづくりに向け、本市  
としてしっかりとサポートして  
いただくことを要望します。

**3 子育て支援・教育環境の充  
実に向けてについて**

**(1) 道明寺こども園について**

**質問** 令和3年3月に開催され  
た、こども園推進本部会議での  
決定事項についてお聞かせくだ  
さい。

**答弁** 道明寺こども園の組織を  
ひとつにする「幼保連携型認定  
こども園」に移行し、時期は令  
和5年4月を目指します。また  
令和3年の秋頃までに大きな方  
向性を決定し、令和4年の秋頃  
までに詳細な内容を決定します。

**要望** 保護者への説明も丁寧  
にしていきたい。幼稚園と保育所  
を融合した質の高い藤井寺スタ  
イルの認定こども園を築き上げ  
ていただくことを要望します。



改革ふじいでら  
個人質問  
國下 尊央

**1 GIGAスクール構想につ  
いて**

**質問** 令和2年12月議会で、答  
弁いただいた、教職員向け研修  
会は実施されたのでしょうか。

**答弁** 教職員の研修につきまし  
ては、これまでに、タブレット

端末に搭載する東京書籍タブ  
レットドリル活用研修など5回  
研修を実施しました。

**質問** 令和3年度についてはど  
の様な研修を計画していますか。  
**答弁** 令和3年度は一年間で12  
回を予定しています。

**要望** ICTの分野は日進月歩  
です。先生方のICTスキル向  
上に努めてください。

**質問** 児童生徒のタブレット端  
末使用時のトラブルを避けるた  
めの情報モラルについて、どの  
ような学習が行われていますか。

**答弁** タブレット端末を使う際  
に、してはいけないこと、個人  
情報がとられる危険性がある場  
合があることなど子どもたち一  
人ひとりに責任が伴う事などの  
内容で適時行っています。また  
SNS上で他人の誹謗中傷を行  
うことは犯罪であることなど、  
これからの社会を生きていくう  
えで大切なことを考える学習を  
行っています。

**質問** 本市のネットワーク環境  
は大丈夫でしょうか。  
**答弁** 国が想定した以上に負荷  
がかかることが明らかになっ  
てきました。現在はタブレット端  
末を使用する際スムーズにつな  
がるよう、改善のための取り組  
みを進めている状況です。

**要望** 初めてのことはかなり大

変だと思えますが、改めてICTを活用し、世界で活躍できる子どもたちを育ててもらいたいと思います。

## 2 学校施設の安全性について

**質問** 防球ネットの支柱倒壊、体育館内でのバスケットゴールの落下など学校敷地内での児童生徒が死傷する事故が発生したとの事ですが本市の学校施設において安全確保に対する取り組みの現状を、お聞かせください。

**答弁** 文部科学省が「学校環境における工作物及び機器等の安全点検について」の通知文を發出し、これを受け全校で緊急点検を実施しました。しかしながら市職員、教職員での緊急点検だったので、今後は専門業者による点検も検討してまいります。  
**要望** 子どもの安全は何物にもかえがたいものですので、専門業者での点検をお願いします。



公明党  
代表質問  
片山 敬子

## 1 コロナ禍における影響と対策について

### (1) 虐待について

**質問** コロナ禍での児童虐待の本市の状況を教えてください。

**答弁** 極端に増加していません。

**要望** 複雑化して表に出てこないが未然に防ぐ点から相談体制と支援体制の充実、オンライン支援もお願いします。

### (2) DVについて

**質問** 令和元年4月から令和2年3月までに約1.5倍に増加しています相談経緯を教えてください。

**答弁** 貧困、教育、子育てをめぐる問題など総合的に関連しています。庁内の各種相談課が、連携横断的に対応する事が重要と認識しています。

**要望** 暴力の未然防止、拡大防止の意識を深める中で認識してもらいには継続的な広報掲載とラインでの情報提供、また、同行支援と手続きの一元化、SNS活用相談体制をお願いいたします。

### (3) 子育て世代の困窮について

**質問** コロナ禍の中で収入減などによる貧困においては、子ども7人に1人、ひとり親世帯に

おいては、7人に2人が相対的困窮と言われています。状況をお聞かせください。

**答弁** 様々な相談に来られますが勤め先が休業になり収入が急減し生活が苦しくなった方は増加傾向です。

**質問** 相談に来られる方への対応について教えてください。

**答弁** 事情を聞きコロナ対策の給付金案内、様々利用できるほかの制度や法律相談の紹介とハローワークへ引き継ぎの対応をしております。

**要望** 困窮者の中にはSOSの出し方が分からない方もいらっしゃいます。行政の申請主義ではなくプッシュ型の対応していただく事と多くの情報が支援につながる対策をお願いします。

### (4) 生活困窮者自立支援金の内容と周知方法について

#### (5) 障害者への対応について

**質問** マスクをする事ができない障害児が外出のときに、厳しい目が向けられないよう意思表示するカードやバッジの配布を開始した所もあります。本市でも対応できないのでしょうか。

**答弁** 実施してまいります。

**要望** この項の質問の全般に対しての要望ですが令和3年4月から改正福祉法において重層的支援体制整備事業が創設され、

断らない相談支援、参加支援を自治体で速やかに実施できるよう介護、障害、子育て、生活困窮の4分野の予算を確保し実施の義務化を検討していくことになっていきます。つながる支援、あてはまる支援、相談支援の質の向上を図るために機能性を持ったスーパーバイザーの設置を要望します。

**質問** 新型コロナウイルスの影響により人との接触を避けるオンラインサービスの利用拡大が求められています。しかしながら高齢者はデジタル活用に不安のある方が多いです。デジタル活用普及支援の取り組みを考えておられますか。

**答弁** 新型コロナウイルスの接触が進みましたら開催する、高齢者を対象としたスマートフォンの講座の準備を進めています。

**要望** 今後は行政サービスもICT端末でワンストップで把握できるようにします。今後はデジタル弱者への支援もお願いします。

**3 がん検診について**  
**質問** 新型コロナウイルスによる受診差し控えなどにより、がん検診に

ついても影響を受けていると慮していますが本市の現状をお聞かせください。

**答弁** 令和2年4月から5月の間はコロナウイルス緊急事態措置により一時中断しておりましたが6月以降は検診を再開しました。令和2年度受診者数の総数は12%の減少となっています。

**質問** がん検診の受診率を向上させるためにどのような対策をされていますか。

**答弁** 2年に1回の受診要件を設けている乳がん子宮がん検診で令和2年度、検診をされない場合も令和3年度は大阪がん循環器病予防センターで受診可能としています。またセンターでは女性のための土曜検診として女性スタッフのみで乳がん・子宮がん・大腸がん検診を実施しています。

**要望** 女性スタッフのみで行われている検診の周知をホームページやラインでお願いいたします。また、乳がんは働き盛りの30代後半が急増していますので、30代を対象にした乳がん検診を、お願いします。「がん検診のすすめ」というパソコン、スマートフォンでリスクチェックできるシステムの導入もお願いします。





#### 4 がん教育について

**質問** 今後学校で行われていくがん教育について教えてください。

**答弁** 中学校、高等学校の学習指導要領に、がん教育が位置づけられました。今後は子どもたちが、がんについての正しい知識と、がん患者に対する理解を深めるため各中学校で、令和2年度から令和7年度までの間で1回以上、府教育庁が派遣する外部講師の専門家を活用し実施します。

**要望** 私はこれまで、がん教育について学校に専門家である外部講師の方に特別授業を実施いただく事を求めてきました。実施していただく事に感謝いたします。がん教育は生涯を通じて自らの健康管理をする上で大切です。中学校在学中に1回、専門家による授業の要望をいたします。

願います。



公明党  
個人質問  
伊藤 政一

**1 子どもたちの安心のために(1)教員の働き方改革の経過について**

**質問** 令和元年から取り組まれている働き方改革は、どのように実施されているかお聞かせください。

**答弁** 「藤井寺市立学校における働き方改革に係る取り組みについて」を作成し実施しています。

**要望** 事務作業の簡素化など抜本的改革を要望します。



公明党  
個人質問  
玉田 日登美

**1 電話リレーサービスについて**

**質問** 令和3年7月から耳の不自由な人と聞こえる人が電話で話せる「電話リレーサービス」が始まります。緊急通報やクレジットカードの紛失届など電話でしか出来なかった手続きが可能になり電話応対ができれば働く道も開けます。本市のお考えをお聞かせください。

**答弁** 登録や利用の支援を行います。障害をお持ちの方に寄り添った支援を行います。



大阪維新の会  
代表質問  
生田 達也

**1 都市計画について**

**(1) 企業誘致について**

**質問** コロナ禍で企業が都心から郊外へ転出しています。用途地域問題もあり企業数が減少している本市の誘致策を伺います。

**答弁** 本市は用地や環境の問題で誘致が難しいです。既存事業者との協働で活性化を図ります。

**要望** 経営コンサルタントやソフトウェア開発の身軽な業種からの企業誘致策を要望します。

**(2) 空き家対策について**

**質問** 7団体と連携協定を結んだ空き家対策等協議会の令和3年度の協議内容を伺います。

**答弁** 3回の開催予定で主に空き家の活用促進について協議いただきます。

**要望** 税制面の優遇措置の見直しと、需要と供給のマッチング策の導入を要望いたします。

**(3) 改正地球温暖化対策推進法について**

**質問** 本市の脱炭素化に向けた取り組みを伺います。

**答弁** 藤井寺市地球温暖化対策推進実行計画ECCO2プランふじいでらにて5つの方針を体系化し取り組みを進めています。

**要望** 全公共施設に太陽光パネルの設置と専門的な温暖化対策推進室の設置を要望いたします。

**2 少子化対策について**

**(1) 改正育児・介護休業法について**

**質問** 男性の家事・育児への携わりが少子化対策に有効です。今回の法改正での本市の育児休暇の取り組みを伺います。

**答弁** 対象者には制度周知と取得意向を確認し取得促進に努めます。また、取得状況をホームページにて公表いたします。

**3 職員の接遇について**

**(1) 藤井寺市接遇マニュアルについて**

**質問** 本市の大切な資産となる接遇マニュアルブックが作成されました。活用方法を伺います。

**答弁** 研修時の資料にて活用いたします。また、給料明細の裏面に要点を掲載し醸成に努めます。

**要望** 接遇力向上と、身だしなみを確認する姿見の設置を要望いたします。

**4 PDCAサイクルの取り組み**

**(1) 会計検査院の役割について**

**質問** 本市には独立した組織が事業内容をチェックし次に生かす仕組みがあるのか伺います

**答弁** 各事業担当部局が内容を評価、検証まで行っています。

**質問** 令和2年度実施事業「店へ帰ろうキャンペーン」の目標計画と評価、反省点と現在開催事業の「買って応援ふじいでら」に何が生かされたかを伺います。

**答弁** 緊急コロナ対策で実施した事業により検証を意識して実施したものではありません。

**要望** 税金を用いる事業検証は必ず行い、次の事業に生かす取り組みを常態化してください。



大阪維新の会  
個人質問  
松本 洋介

**1 人事評価制度の進捗について**

**質問** 私は就任1年目から現行の人事評価制度が頑張っている職員が報われず、評価の公平性の不十分さを指摘し、改革を訴え続けています。進捗を伺います。

**答弁** 頑張った職員を的確に評価する考えには変わりありません。本市にあった評価システムを構築すべく、先進事例の調査研究や検討指示を出しています。

**要望** 頑張る職員を正當かつ公平に評価し、漫然と歳を重ねる

職員の発生を抑制する革新的な人事評価制度を構築ください。

## 2 子どもがSOSを発信しやすい環境づくりについて

**要望** 子どもたちが健やかに学校生活を過ごすため、いじめやセクハラ、体罰などを保護者や教員を介さず直接外部へ相談できる新たな窓口をタブレット端末等、活用して開設してください。

## 3 新型コロナウイルスワクチン接種率向上への取り組みについて

**質問** 令和3年3月議会で我々が要望した集団接種を実施くださり感謝申し上げます。感染予防策として、多くの方にワクチンを接種いただき、集団免疫の獲得が有効と考えられています。が、市としての見解を伺います。  
**答弁** ワクチン接種により感染した場合でも重症化防止が期待されています。また、多くの方が接種することで新規感染者数が減少すれば集団免疫が形成され、結果的に医療現場への負担が軽減し、緊急事態宣言の経済活動の制限も起きにくいといった有効性を認識しております。  
**要望** 64歳以下の方は通勤・通学で接種が可能な日時が限られるため、接種日時・場所も重要

です。市民体育館の活用も有効ですが、気軽に接種ができるイオンホールの活用も検討ください。令和3年3月議会でも要望しましたが、接種率向上による地域経済活性化と集団免疫の獲得に向けて、接種を完了した方と身体などの事情で接種できない方にも配慮した、地域商品券配布事業を要望します。



大阪維新の会  
個人質問  
河井 計実

## 1 コロナ禍における観光振興について

**質問** 観光振興における石川河川敷の有効利用について市長の考えを伺います。

**答弁** シュラホールや石川河川敷の活用につきまして私自身もその積極的な活用に向けて様々な可能性を探っているところでございます。府とも協議を始めており、連携を図りながら検討してまいります。

**要望** シュラホールを博物館や、ホテル、レジャー施設に改装すれば観光施設に生まれ変わります。石川河川敷をキャンプ場などのアウトドア施設として利用すれば、「駅と商店街に併設されたキャンプ場」として道明寺商店街にも利用者が増えて賑

わいが生まれます。観光振興でも近隣市町村と広域連携を図って南河内地域全体で観光振興を取り組む施策を考えてください。

## 2 ICTの活用状況について

**質問** A-1の導入状況や検討状況について伺います。

**答弁** 音声認識A-1の運用を開始いたしました。本年度はA-1の研究チームを新たに設置し、具体的検討を行う予定です。

**要望** ICTの知見が豊かな人材が必要です。人材育成と新規人材登用の検討を要望します。

**質問** 学校でのICTを使った今後の学習計画を伺います。

**答弁** タブレット端末の持ち帰りを可能とする予定で、学校と家庭との両立により子どもたちの学習スキル向上を図ります。

**要望** ICTではリアルタイムで海外の学校と共同授業を行ったり、中学生に高校の授業をライブで受講させることもできます。私が培った43年間のICT技術は惜しみなく提供しますの子どもたちの未来のために一丸となってICTを推進くださいますよう要望いたします。

**質問** 教育振興基本計画で史跡等の学習内容を伺います。

**答弁** 地域史跡の寺社仏閣や道標、街道等を取り上げて郷土愛

を育む教育を推進しています。  
**要望** 道明寺合戦や幕末維新の伴林光平などにも目を向けて取り組んでください。



会派に属さない議員  
個人質問  
花崎 由貴子

## 1 これからのまちづくりについて

(1) 地域とひとつづくりについて  
**質問** 「自らのまちは自らでつく」という意識を高めるための取り組みを教えてください。

**答弁** 機運の醸成を図るために、市民活動を紹介する冊子の発行や団体の支援を行っています。

**質問** 市民の声を直接に聞くことは重要です。オンラインミーティングの感想はいかがですか。

**答弁** 満足度が高く、ニーズの高さを実感しました。  
**質問** 多様な主体の交流による地域の活性化が重要ですが、行政はどのように関わりますか。

**答弁** 自治会と活動団体の協働で地域の活性化につながる事例を広く情報発信しています。  
**質問** 学校を、出会う機会が少なくなつた保護者同士や地域の方々とのつながりをつくる場と

して活用できますか。  
**答弁** 可能だと考えます。学校としては、子どもたちをどう育てるか、という共通の目的を保護者や地域の方々も持つ中で、協働して取り組んでいくことが重要です。

**質問** 住みよいまちにするために、取り組んでいることを教えてください。

**答弁** 困ったときに助け合う共助の考え方が重要ですので自治会への加入促進を図っています。

**質問** まちづくりはひとつづくりであると言われますが、どのように考えられていますか。

**答弁** 市民の方々と対話し、信頼関係を構築することが、ひとつづくりには重要と考えます。

**要望** ひとつとひとつが出会うことで、つながりができ、刺激し合い成長することで意識は向上し、まちは活性化され賑わいができます。出合いの場を作る役割を行政が担ってください。



# 令和3年第1回臨時会・第2回定例会議決結果一覧

議案番号・議案名	会派・議員名											結果			
	改 革	ふ じ い で ら	公 明 党		維 新 の 会 大 阪		政 新 フ ラ ブ		日 本 共 産 党		無 会 派				
	畑 謙 太 朗	山 本 忠 司	國 下 尊 央	片 山 敬 子	伊 藤 政 一	玉 田 日 登 美	河 井 計 実	生 田 達 也	松 木 洋 介	麻 野 真 吾	岡 本 光	瀬 川 覚	木 下 由 貴 子	花 崎 由 貴 子	
第1回臨時会	報告第6号	専決処分の承認を求めることについて(市税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報告第7号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度藤井寺市一般会計補正予算(第14号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報告第8号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度藤井寺市一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第30号	藤井寺市監査委員の選任につき同意を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第2回定例会	報告第12号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度藤井寺市一般会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第31号	市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第32号	藤井寺市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第33号	藤井寺市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第34号	藤井寺市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第35号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第36号	藤井寺市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第37号	令和3年度藤井寺市一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第38号	令和3年度藤井寺市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第39号	令和3年度藤井寺市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第40号	令和3年度藤井寺市公共下水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第41号	藤井寺市手数料条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	原案可決
	議案第42号	令和3年度藤井寺市一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議会議案第7号	藤井寺市議会会議規則の一部を改正する規則について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

議長のため、採決不参加

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対 「—」は地方自治法の規定により、採決不参加

## 報告案件など

第2回定例会	令和2年度藤井寺市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
	令和2年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
	令和2年度藤井寺市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
	公益財団法人藤井寺市地域サービス公社の経営状況の報告について
	公益財団法人藤井寺市勤労者互助会の経営状況の報告について

## 藤井寺市議会日程 第3回定例会のお知らせ

### 【本会議】

9月 1日(水) 議案説明  
9月 9日(木) 一般質問  
9月10日(金) 一般質問  
9月28日(火) 委員長報告など

### 【委員会】

9月15日(水) 民生文教常任委員会  
9月16日(木) 総務建設常任委員会

※各日10時から開催します。  
※日程は変更する場合があります。